

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日:令和5年11月28日

事業所名: 放課後等デイサービス MOMB石橋

対象人数(保護者)26人 回答者数 17人 回収65%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	17			広くて、視覚刺激を抑えたすっきりした環境が良いです。 もう少し温かみのある空間だと、より良いのでは、と思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	3		配置数等、具体的なことは分かりかねますが、お会いする機会のある職員の方は素晴らしいと感じています。 改善して対応して行ってくれてる
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	7		
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	17			
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	4		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	9	4	それは学校が担っているので、デイのプログラムには必要ないと考えます。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16	1		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16	1		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4	7	6	個人的には、無くて構わないと思っています。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	3		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	15	2		
	⑭	個人情報に十分注意しているか	13	4		
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14	3		池田と同じマニュアルだと認識しています。 詳しく把握していない
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	9	2	把握していません
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	14	3		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	16	1		親としてはすごく助かっている部分は多いが本来のプログラミング療育のプログラミングに関わる時間他の遊びをやるかどちらか子供が自分で決める選択性になり、毎回組み込まれていない事が多いので毎回プログラミングも組み込んだスケジュールを作って頂けるとありがたい。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5年 11月 28日

事業所名 MOMB石橋

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			定められた基準より20㎡程広く確保している。		
	2 職員の配置数は適切である	5			配置基準を1~2人上回る人員配置をしている。		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1				
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		各職員が自発的にPDCAサイクルが参画できるように業務改善とサービスの向上を図っています。	事業所会議等で日々の支援やプログラムの内容を常勤職員のみではなく、パート職員にも共有を徹底出来るようにする。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				毎年、アンケートを実施し集計結果をHPに掲載している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5				集計結果をHPにて公表する。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			5		第三者評価の導入を検討し、サービス内容・運営面の向上に努めています。	
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5			外部研修の案内を職員に周知している	知識向上のために、事例を活用した研修等も行っていきたい。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				個別に面談を実施し、アセスメント、モニタリングを実施し個別支援計画を作成しています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5				支援計画作成時にはアセスメントシートを活用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5				管理者中心にプログラムの立案を行い、職員間の意見をもとに最終決定している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している			5		利用日によって、プログラムを変えているが、課題に対しての取り組みをより細かく設定する余地があるので、さらなる向上を図る。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1			利用時間が長い際には、プログラムに取り組み時間とレクリエーションになるような時間を設けて、メリハリが出るようにさらなる向上を図りたい。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				児童の特性に応じて、どのような支援が必要か本人の様子と保護者様のニーズをよく聞き取り、サービス計画を作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			当日の朝には支援内容の打合せを行っている。	午後出勤の職員についても支援内容を把握しているか確認をとる。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している			5		送迎の時間によって難しい場合は、翌朝の支援前に前日の支援の振り返りを行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				連絡帳、業務日誌、送迎日誌など記録に残して支援計画の更新時に活かせるようにしている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				6か月に1回はモニタリングを行うようにしている。児童の状況によっては短い期間でモニタリングを実施して、支援計画の検討を行う。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	1			児童の発達段階を見ながら段階的に複数の活動を組み合わせさせていきたい。	
	関係機関 や保護者 との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2	3			計画立案の責任者である児童発達支援事業所との会議に参加することになっているが、地域柄の影響か活発に担当者会議が開かれているとは言い難い。積極的に関係各所への声掛けを実施していきたい。
		21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1			情報共有に関しては継続して行い、児童の支援に関する事柄も共有していく。
		22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			5		該当なし
		23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている			5		定期的な会議の開催などを通じて児童の課題解決や得意を伸ばすことに注力していきたい。
		24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			5		現状、該当する児童はいないが、今後に向けて、事業所への移行をスムーズに行えるように連携を深めていく。
		25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3			連携をとれている事業所が部分的なので、専門機関との連携や研修依頼等を積極的に行っていく。
		26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3		公園に外出する際には地域の子ども遊ぶこともある。	保護者様の要望を確認して交流機会を設けるか検討していきたい。
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している				5		実績はない。今後の課題として交流できる機会を設けるように検討したい。	
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		5				事業所での様子をお伝えしたり、保護者様にとっての児童の知りたい情報を把握して、共通理解をもてるように努めていく。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている				5		ご家庭での困りごと改善に向けて、より一層家族支援に取り組んでいきます。また職員の専門知識の向上に努める。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			日々の様子で気になることがあれば個別に連絡している。 定期的に相談の機会を提供し、助言と支援を行える体制を作る。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5		ご希望のある保護者に応じて茶話会や懇談会を実施していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1		事業所への要望、苦情の連絡窓口、対応方法について周知を行っています。重要事項説明書の確認時の説明に加え、希望に応じて対応マニュアルの開示を行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2		
	35	個人情報に十分注意している	5			マニュアルを基に日頃から個人情報の取り扱いについて意識向上に努めている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		保護者様の要望の有無を踏まえて実施するよう検討していきたい
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	3		作成した対応マニュアルを用いて、適宜研修を行っています。 マニュアル内容を必要に応じて更新していくとともにご希望者には開示を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	2		年に2回避難訓練を実施している。 想定される災害状況を組み合わせた避難訓練も実施する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			虐待防止委員会を設置し、研修内容に最新の情報や事例等の検討も入れるように内容を更新していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3		対象になる児童はいないが、どのような対応が身体拘束にあたるか、その必要性の有無についても年に1回研修を実施していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3		該当児童にはどのような対応が必要か保護者様と相談しておやつの対応をしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	2		事業所での大きな事故を防ぐために、職員間でより些細なヒヤリハットを報告、共有していく。